

春の特別企画展

コラムとともにもに Part. II

白磁百合型小鉢 鍋島様式十七世紀後期

鍋島では珍しい白磁の作品である。形状的にとのような技法により制作されたのか定かでない小鉢である。

この小鉢を手に入れた経緯は、十四代の襲名の際に、ある方から一生の記念になるものを買ってくださいと御祝をいただいた。自分の仕事に対し今後

の「鍋島」に携わる決意として、相応しい鍋島の古陶器がないかと探しているときに、古美術商の方から紹介してもらった作品である。この作品を手にしたときは、成型のすばらしさと同時に、この作品から伝わる何ともいえない気品と格調を感じ、鍋島の精神を継承する心を正させられたことを思い出す。

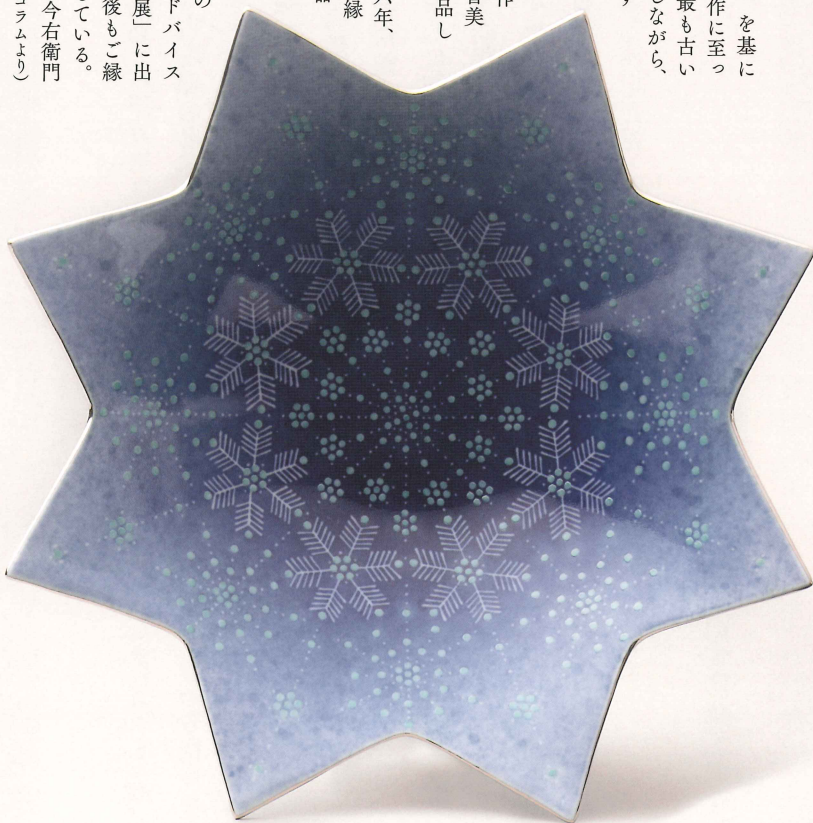
そして数年前、ある画廊から、企画として「華」というテーマで作品を制作してくださいという依頼があり、最初は六花といわれる「雪の結晶」の作品を制作していたが、「何かもっと華と解る作品がいいんじゃないの」。そして「あの百合型の小鉢のような作品が創れないの」というアドバイスをいた

だき、この「白磁百合型小鉢」を基に試作を重ね、百合型の平鉢の制作に至った。この私の作品は、有田の最も古い轆轤の型打ち成型により制作しながら、現代的な新しい作域を創り出すことができ、伝統のあるべき姿を表現できたのではないかと我ながら喜んだものである。さらに、これを基本として制作を重ねたものが、現在、菊池智美術館の「現代の茶陶展」に出品している。

十四代今右衛門を襲名して六年、皆様からいただいた様々なご縁に感謝をしている。この古陶器に関しても、最初の、一生の記念になるものと言っていた

だいたご縁、古陶器を手に入れたご縁、画廊からの「華」のテーマをいただいたご縁、アドバイスのご縁、さらに「現代の茶陶展」に出品させていただいたご縁。今後もご縁を大切にしていきたいと感謝している。

十四代 今泉今右衛門
(二〇〇八年六月 古陶磁コラムより)



会期 平成二十五年四月十八日(木)～六月三十日(日)
会場 公益財団法人今右衛門古陶磁美術館

観覧料 一般五〇〇円(四〇〇円) 高・中・小生無料 ※()内は十五名以上の団体

● 開館時間 九時三〇分～十六時三〇分

● 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日休館。四月二十九日(月)は開館・五月六日(月)は休館)

● 〒八四四-〇〇〇六 佐賀県西松浦郡有田町赤絵町二-十一 ☎ 〇九五五-四二-五五五〇

春の特別企画展

コラムと ともにと Part. II

会期 平成二十五年四月十八日(木)～六月三十日(日)
会場 公益財団法人 今右衛門古陶磁美術館

観覧料 一般五〇〇円(四〇〇円) 高・中・小生 無料 ※()内は十五名以上の団体

● 開館時間 九時三〇分～十六時三〇分

● 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日休館) 四月二十九日(月)は開館・五月六日(月)は休館

● 〒八四四一〇〇〇六 佐賀県西松浦郡有田町赤絵町二一―十一 ☎〇九五五一四二―五五五〇



昨年、「鍋島・古伊万里コラム」によせてPart・I」を開催しましたところ、皆様方から古陶磁の名品を堪能するだけでなく、そのものにまつわる様々なエピソードを知ることが出来、楽しい展覧会であったとお声を多々お寄せ頂き大変嬉しく思っております。

この度、当館では再度「コラム」によせてPart・II」を開催いたします。前回は当美術館ウェブサイトに「古陶磁コラム」を基に鍋島・古伊万里の古陶器を中心に紹介いたしました。今回はさらに十四代今右衛門ウェブサイトに「十四代コラム」で掲載した古陶磁以外の品々も併せ、エピソードと共に展示いたします。

代々今右衛門の古陶磁との出会い、十四代今右衛門のものとの関わりの一端をお楽しみいただきましたら幸いに存じます。

公益財団法人 今右衛門古陶磁美術館